



八戸市津波防災センター



八戸市津波防災センター

会報 防災だより

2017
VOL.19

9月30日発行

CONTENTS

1. ご挨拶	会長 大黒裕明	2P
2. ご挨拶	消防長 大橋俊直	3P
3. 八戸消防本部予防課職員紹介		3P
4. 第9回防災意見発表会		4P
5. 平成29年度定時総会開催		5P
6. 平成29年度事業計画		5P
7. 平成29年度新規加入事業所紹介		5P
8. 防火管理に関する資格取得講習会開催(後援)		6P
9. 第40回少年消防クラブリーダー研修会(後援)		6P
10. 各消防署管内主催事業		7P
11. 平成29年八戸消防広域圏内の火災概況(上半期)		8P

題字揮毫 大黒会長



ご挨拶

八戸地域防災協会
会長 大黒裕明

防災だより第19号をお届けします。

で仕方がありません。改めてご冥福をお祈りします。

8月盆明けのある日、訃報が飛び込んできました。当会の副会長をしていただいている田名部喜栄さんがお亡くなりになったというのです。驚いて、情報の真偽を何度も確かめてしまいました。氏は当会にも献身的にご協力いただいているほかに、もちろんご本業の介護や福祉事業でも業界の重鎮でいらっしゃるばかりか、「えんぶり」など伝統の行事にも積極的にご参加なされるなど、地域に多大な貢献をされておられた方で、こんな素晴らしい方を失ったのは残念

さて、氏をはじめ多くの方のご理解とご協力のおかげで、当

会は間もなく10周年を迎えようとしています。母体となった三つの団体、「防管協」「設備協」「自消連」は、現在では概ね融和し立場の違いを超えて協力し合いい、良い状況にあると安堵しています。会員の皆様には本当にお礼を申し上げます。現状に満足せず、さらに地域の防災意識高揚のためにどうすることが望ましいかと考え、今、当会の規約や組織の見直しを行ってまいります。成案ができましたら、来年

の総会にお示しし、皆さんのご意見を賜りたいと存じます。

この夏、私は、「三社大祭」だけでなく「弘前ねぶた」と「黒石よされ」を見物する機会を得ました。そのどれもが、地元の方たちの祭りに対する思い入れの強さを感じさせる熱気で、おそらくどのまちの方も「おらほの祭りこそ日本一」だと内心考えていらっしゃるのだろうと思うと微笑ましくなりません。そんな気持ちになれるのも、それぞれのまちが平和で安全だからなので、それを守る活動をしている一員としての誇りを皆さんと共有し続けたいと、改めて願いました。

異常気象が今年も全国で災害を引き起こしています。ヒステリー状態にいらっしゃるお天気

の神様を宥めるために、私たちはどんなことができるのでしょうか。二酸化炭素がその本当の原因なのかどうか私には正直まだ信じられませんが、でも考えられる要因のうち今できる対策をしなければならぬというのは理解できます。現に津波や竜巻、想定外の豪雨や、それらと直接繋がるかどうか分かりませんが火山の爆発までもが起きているのですから、備えるのに躊躇はできないでしょう。自分たちの職場や地域を守り、大切な人たちを守るために、当会としてもできる限りの活動をしてまいりますので、これからもご理解とご協力をお願いします。



ご挨拶

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部
消防長 大橋 俊直

会員の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて私こと、平成29年4月1日付けをもちまして消防長を拝命いたしました。

職責の重大さに鑑みますと、身の縮む思いであります。課せられた任務は、瞬時の停滞も許されないものと、決意を新たにしているところであります。

就任から6か月、当広域管内では大規模な災害も無く経過しているところであり、これからも我々消防の究極の目標である『住民生活の安全確保』のため、職員一同その使命達成に全力を

尽くして参る所存であります。

さて、昨年を振り返りますと、8月に岩手県の太平洋側を襲った台風10号は、数日間日本列島の南側を迷走した後、北寄りに

進路を変えて岩手県に上陸し甚大な被害をもたらしました。昭和26年に気象庁が台風の統計を取り始めてから東北地方の太平洋側に上陸するのは、初めてということです。

その他にも熊本地震を始め全国各地において、集中豪雨・台風・竜巻の発生等、自然災害が猛威を振るい、地域住民は大きな不安を感じているものと思えます。

このような状況の中、「安心・安全」に対する住民の関心は、一段と高まりを見せており、多発する大規模災害に対応するためには、消防力の強化のみを進めるのではなく、地域の防災力を総合的に強化することも肝要であります。

貴協会は、創立当初から今日に至るまで組織を挙げて様々な防災活動を繰り広げ、地域の「安心・安全」に多大な功績を残して参りました。

これまで当消防本部は、皆様と共に数々の事業を展開して参りましたが、近年の大規模災害に対応するため、さらに連携を深め、地域ぐるみの強固な防災体制を目指すことが大事だと考えております。

今後とも会員の皆様には、八

戸広域消防にますますの御支援と御協力をいただきますよう心からお願ひ申し上げます。私の挨拶にかえさせていただきます。

予防課職員紹介

今年度、当協会事務局のある八戸消防本部予防課職員は、次のとおりです。

- 橋本 広 功(課長)
- 松坂 元(課長補佐)
- 三浦 忠 則(副参事兼設備指導班長)
- 村井 孝 雄(副参事兼保安調査班長)
- ◎石橋 博 幸(副参事)
- 賣井坂 常 幸(保安調査班主査)
- 沢田 信 悟(設備指導班主査)
- 岩澤 晃 一(設備指導班主査)
- 門前 祐 児(保安調査班主査)
- 松井 孝 成(設備指導班)
- 松倉 敏 昭(予防査察担当)
- 中村 繁 樹(予防査察担当)
- 山内 秀 夫(予防査察担当)
- 田中正 二(予防査察担当)
- △協会臨時事務職員▽
- ◎清野 由起子(新規)

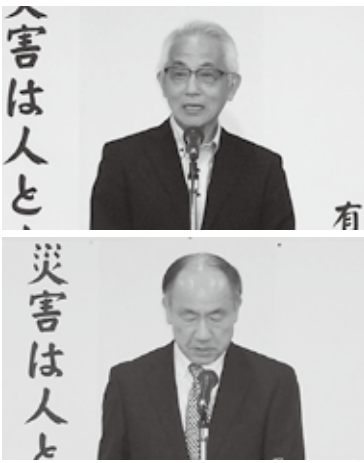
※◎は、事務局担当
今後とも、宜しくお願ひします。

第9回 防災意見発表会



定時総会に先立ちまして、「第9回防災意見発表会」が八戸グランドホテル1階マリオンホールにおいて開催され、会員事業所から3名、消防職員1名の計4名の方が防災に関する発表を行いました。

高齢者等を抱える自社における夜間防災訓練、消防団員としての災害



体験、東日本大震災での出来事、救急活動においての消防・事業所の助け合いなど、発表者の体験、感想等様々な提言に、出席者の眼差しは真剣で、時折うなづく方々も多く見受けられました。

終了後は、大橋消防長から、「本日、ここにお集まりの皆様が、今後、職場はもとより地域、そして家族に防災意識を広げていただくことをご期待申し上げます。」と講評をいただきました。

「夜間総合防災訓練」



戸三ほみほ施設保健老人
信正 武土沢 さん

武土沢さんは、高齢者や身体に障害のある自力避難が困難な方々が入所されている社会福祉施設に勤務し、副防火管理者として避難訓練を計画し実施しているそうです。

平成8年からは、夜間総合訓練として夜7時から施設職員だけではなく、近隣の消防団員や一般住民の方、更に関係業者で編成した地域の災害救援隊も参加しての合同訓練を実施し、有事の際には、地域ぐるみで入所者を守るよう訓練を積み重ね、対応していきたいという力強い発表内容でした。

「記憶に残る災害と私」



三貞 有限会社
良男 林 さん

林さんは、地元五戸町の会社で仕事をされる傍ら20年以上消防団に在籍し、昭和43年の十勝沖地震から始まり、平成6年の隣家での火災や三陸はるか沖地震、更に平成23年3月11日に発生した東日本大震災など記憶に残る災害での消防団員としての活動や、災害で学んだこと、感じたことを繋ぎあわせ、当時の様子が目に浮かぶような内容の発表でした。

「災害は人と人の協力から」



備設総合成田株式会社
輝彦 成田 さん

成田さんは、地元おいらせ町で設備会社を営んでいる傍ら、消防団員でもあったため、防災に関する知識には自信があったそうです。

しかし、八戸市鮫町で仕事をしていた際、東日本大震災に襲われ、市内に気になる現場があったために、海を見ながら気になる現場に向かう

と従業員に伝えたところ「絶対、やめたほうがいい」と言われ、内陸を通ったそうです。

後日、海岸線等が津波の被害を受けたことを知り、従業員の言葉に助けられたこと、更に消防団でのポンプ操法訓練で団員同士の連携や協力ができたことの二つの体験から、災害へ一人で立ち向かうのではなく、仲間同士で協力することが大切であるという発表内容でした。

『おかしな』チームリーダー



八戸消防署
成海 館石 さん

消防職員の館石さんは、今年2月10日に青森市で開催された、消防職員意見発表会の青森県大会に八戸消防本部の代表として出場されました。

2020年東京オリンピック開催に伴い、多数の集客が見込まれる日本、現在の救急隊で現場活動が対応できるかが疑問に思い、一般の事業所と手を組み応急手当の方法を共有することで、助かる命を増やし金メダル級の一次救命処置を日本全体で目指そうという内容でした。



平成29年度 定時総会開催

去る5月30日(火)、八戸グランドホテル2階グランドホールにおいて、会員103名が出席し、齊藤副会長の開会の言葉で、平成29年度八戸地域防災協会総会が開催されました。

総会に先立ち大黒会長からのご挨拶があり、その後、会長が議長を務め平成28年度の事業結果・収支決算報告及び平成29年度の事業計画・収支予算(案)を事務局が説明し承認・議



決されました。

議案事項終了後には、功労表彰として三戸部の太田欣一郎前理事に対して感謝状と記念品の贈呈が行われましたが、諸事情により本人が欠席となったため、三戸部の諏訪内三千雄理事が代理を務めました。

最後に、椋沢副会長の閉会の言葉で総会は、無事に終了いたしました。また、総会後には同会場において、多くの来賓を招待しての懇談会が行われそれぞれに親睦が図られました。



太田欣一郎前理事への感謝状を代理贈呈

平成29年度 事業計画

1 災害時要援護者支援事業

- (1) 住宅用火災警報器寄贈設置
- (2) 電気・水道、燃焼器具設備等の点検修理

2 防火防災思想普及事業

- (1) 火災予防運動用ポスター作製及び配布
- (2) 各種防火チラシ作成及び配布

3 研修

- (1) 消防設備等の研修
- (2) 各種施設等の見学
- (3) 講演会の開催
- (4) 消火訓練の実施及び各種訓練への参加
- (5) 救命講習の実施
- (6) 防災士の養成

4 機関紙の発行

5 消防関係資格取得講習会等の後援及び情報提供

- (1) 防火管理者新規講習会の後援及び実施の周知
- (2) 甲種防火管理再講習の後援
- (3) 消防設備士試験、事前講習会等の情報提供

6 幼年・少年・女性消防クラブの育成援助

7 加入促進事業の推進

8 防災フェスタ2017の開催

平成29年度 新規加入事業所紹介

○1部会

- ・株式会社泉山石材葬祭会館
- いずみホールはしかみ

○3部会

- ・マザーパレス八戸沼館
- ・障害者サポートセンター
- くるみの里

○5部会

- ・ホンダカーズ八戸中央石堂店
- ・岩手県北自動車株式会社
- 南部支社

○三戸部会

- ・有限会社石亀商店
- ・有限会社三戸清掃社
- ・大春工業株式会社
- ・有限会社割烹白山
- ・森の菜園

○五戸部会

- ・五戸町立倉石小学校

○電気工事部会

- ・有限会社太陽電気設備

○管工事部会

- ・石亀燃料株式会社

平成29年9月1日現在

総会員数914事業所

防火管理に関する

資格取得講習会開催（後援）



当協会が後援となり毎年開催されている防火管理に関する資格取得講習会が、八戸消防本部5階の研修室において、6月28・29日、7月10・11日、8月1・2日の各二日間、計3回にわたり開催されました。

今年度は、実施回数を1回増やしたことにより昨年度より114名多い367名の方が火気取扱いの基本知識と出火防止対策を始めとし、施設・設備の維持管理方法や火災事例等を学び防火に関する知識を深めました。

二日間の講習は、朝から夕方までのカリキュラムであったため、疲れた表情ではありましたが、皆さん、真剣に取り組んでいました。

講習会の最後には、修了証が全員に交付されました。



修了証の交付

第40回少年消防クラブ

リーダー研修会開催（後援）



種差少年自然の家において、7月26日（水）から7月28日（金）までの2泊3日で第40回少年消防クラブリーダー研修会が行われました。

参加クラブ員は、各少年消防クラブの4年生から6年生までの18名と今年は若干少なめでした。

当協会は、研修会の後援となっており入所式では、大黒会長から励ましの言葉とともに記念品として少年消防クラブのシンボルマーク入りアポロキャップを全員に贈呈しました。

研修内容は、火についての学習、実際に火を消す消火訓練、濃煙・地震・レスキュー体験など様々な防火・防災に関することを実施しました。

また、キャンドルファイヤーやビンゴオリエンテーリングと思い出に残る体験にクラブ員達はとても喜んでいました。

最終日には、参加者全員が感想文

を作成し、最後の別れのつどいでは、男女各1名が代表となり研修会での体験



談を発表し、とても楽しく記憶に残る研修会であったと締めくくりました。



各消防署管内主催事業

八戸消防署管内防災活動交流会

八戸消防署管内の研修会が、9月8日(金)に八戸パークホテル3階ロイヤルホールで大黒会長出席のもと開催されました。今回の研修会では、建物火災が発生した場合の、消防隊が到着するまでの初期対応について、51事業所から69名が参加し、訓練を行いました。



前半では、近年における全国や八戸広域での火災発生件数、原因、死者数等の推移や、火災発生からの初期対応の重要性を、スライドや動画を用いて学びました。後半では、今回の目的に合わせて、八戸消防署が独自に企画、発案した訓練、「First Action Game 5」を実施しました。これは、火災発生から5分間という限られた時間の中で、初期消火、119番通報、避難誘導の3つを軸として、どれだけ必要な対応ができるかを確



認するためのもので、参加会員は、初めて顔を合わせた人と戸惑いながらも、日頃の消防訓練の成果を発揮しました。

研修後は、同ホテル2階メイプルホールにて懇親会を開催し、参加者一同親睦を深め楽しい一時を過ごしました。

三戸消防署管内視察研修

三戸消防署管内では、平成29年7月21日(金)に14事業所から20名、三戸消防署管内職員10名の総勢30名で、昨年5月に盛岡中央消防署を視察しました。

この消防署は、盛岡市を中心に3市5町で構成された盛岡広域消防組合の防災拠点であり、6階建ての庁舎には消防署の他、消防本部や指令センターが併設され、また防災学習や消防体験ができるさまざまなブースが設けられていました。

10時に到着し、まず担当者に案内された防災シアター室は、壁二面全体が硝子張りです。岩手山が一望できるものの説明でしたが、曇りで見られなかったのが非常に残念でした。そこでは、活火山である岩手山が噴火した場合の被害のシミュレーションや、過去の風水害事例など地域で想定される自然災害やそ



の対応が動画で紹介され、参加者からは「自分たちの地域の実情にあった防災対策が必要」との声が上がっていました。

また、防災学習コーナーでは、盛岡地区特有の災害や危険箇所、避難場所など日本最大級のマップが床一面に描かれた盛岡防災パノラマや、災害に備えて日頃から取り組める防災対策品の紹介、南部火消から現代の消防までの歴史をパネルで学んだり、消防体験フロアでは防火服着装や消火体験をすることができました。そのほか、消防隊の業務説明や119番通報から消防車が出動するまでの流れの説明を聞き、消防業務に対する理解を深めることができました。

あつという間の約2時間の研修でしたが、見学や体験を通じて今まで以上に防災に対する意識の向上が図られた有意義な視察研修となりました。



五戸消防署管内視察研修

五戸消防署管内では7月21日(金)に五戸消防署管内事業所の会員17名、職員3名の総勢20名で海上自衛隊八戸航空基地の視察を実施しました。今回の視察研修は、海上自衛隊で



行っている見学ツアーに申し込んだもので、資料館、航空管制塔、P3C航空機、消防隊の見学が盛り込まれております。海上自衛隊の都合でP3C航空機の機内は見ることが出来ませんでした。滑走路を飛び交う航空機、航空機火災に備えられた大型の消防車、テレビでしか見たことない管制設備、傍らには詳しく説明して下さる女性自衛官など至れり尽くせりでした。

約2時間の見学を終了し、五戸町に向けバスを走らせたところでトラブル発生!!当日の気温は32度、なんとバスのエアコンが不調に陥り、懇親会場をお願いしていたアピル五戸に到着した時は、皆さん汗だくの状態でグッタリ。今思えば今年の夏、最後の暑さだったような気がします。

しかしながら、アピル五戸の館内に一歩足を踏み入れると涼しいことこの上なし、参加者全員が一気に復活した後は、懇親会により会員、消防職員間の親睦を深め有意義な視察研修となりました。視察研修に参加していただいた皆さん、お疲れ様でした。



八戸消防広域圏内の火災概況

(平成29年1月1日～6月30日)

1 火災発生状況

平成29年上半年期の火災の発生状況は、総出火件数が50件で、前年に比べ46件の減少となっています。火災種別では、建物火災24件（前年比22件減）、林野火災5件（同9件減）、車両火災3件（同2件減）、その他の火災18件（同13件減）となっています。

焼損棟数は、43棟（同54棟減）、り災世帯は24世帯（同37世帯減）、り災人員は68人（同72人減）、死者は2人（同2人減）で、負傷者は18人（同2人減）となっています。

損害額は7,252万5千円（前年比5,632万3千円減）となっています。

△は減少

区 分		平成29年(A)	平成28年(B)	増減(A)-(B)
総	出火件数	50	96	△46
火災種別	建物	24	46	△22
	林野	5	16	△9
	車両	3	14	△2
	船舶		5	
	航空機			
	その他	18	31	△13
焼損棟数(棟)		43	97	△54
程 度	全焼	13	37	△24
	半焼	2	8	△6
	部分焼	13	34	△21
	ぼや	15	18	△3
り災世帯		24	61	△37
程 度	全損	7	16	△9
	半損		4	△4
	小損	17	41	△24
り災人員(人)		68	140	△72
死者(人)		2	4	△2
負傷者(人)		18	20	△2
建物焼損面積(m ²)		2,266	5,317	△3,051
建物焼損表面積(m ²)		292	1,022	△730
林野焼損面積(a)		56	271	△215
損害額(千円)		72,525	128,848	△56,323
種 別	建物	70,891	119,747	△48,856
	林野	986	5,927	△4,941
	車両	553	2,770	△2,217
	船舶			
	航空機			
	その他	95	404	△309

訃報

当協会副会長 田名部喜栄様（特別養護老人ホーム寿楽荘）が病氣療養中のところ8月16日午前9時8分に逝去されました。

謹んで会員各位にご報告いたします。

葬儀は、8月20日午後1時から八戸市十六日町27の天聖寺に於いて行われ、当協会からは、大黒会長その他、多くの役員・会員が出席され、在りし日の田名部副会長を思い、遺影に永遠のお別れをして参りました。

ご冥福をお祈りいたします。

